

○ 有松まちづくりの会 役員会 (9月24日)

○ 「日本遺産」認定申請への進捗状況 (9月24日)

①有松11団体にアンケート用紙を発送 (回答期限 10月10日)

名古屋市歴史まちづくり推進室から日本遺産申請書原案を作成するために地元有松の細かな状況等を教えてほしいとの依頼があり、有松11団体の長宛にアンケートが依頼されました。

内容は次の通り。

- ・有松の将来ビジョン、有松の魅力、有松周辺の文化財、絞りの見学・体験ができる工房、観光客が楽しめるスポット、各団体が主催している事業等、日本遺産地として実施したい事業

②第1回日本遺産推進協議会の開催 (10月18日)

上記アンケートを参考に、日本遺産申請書(原案)の作成を検討する。

○ 10月27日の緑区民まつりで有松をPR

大高緑地で開催される区民まつりで、パネルやチラシで有松をPRします。

実施内容(予定)は次のとおり。ぜひ遊びに来てください。

- ・PR: 重伝建、町並み相談会、晩秋の有松を楽しむ会、・布袋車大幕復元新調協力をお願い
- ・形状記憶絞りの制作体験、・会員募集活動: まちづくりの会、あないびとの会

○ 「有松町並みガイドライン説明会」開かれる (9月24日、25日歴まち室)

名古屋市歴史まちづくり推進室主催の「有松町並みガイドライン」(平成30年5月発行)の説明会が、有松コミセンと東丘コミセンで開催されました。

有松の町並みの特徴、保存地区制度の概要、必要な手続き、その他屋外広告の留意点などの説明がありました。現状を変更したい場合は、早めに各3町の町内会長も参加している「有松町並み相談会」に相談してください。

<主な質疑応答>

- ・届け出から補助金を利用する工事着手まで2年間位の期間を要するのは長すぎる。
→国との折衝で時間がかかります。
- ・伝建制度を使った修復実績は→29年度2件、30年度3件です。
- ・有松に歴まち室の常駐所が必要では→要望として承ります。
- ・防災についての記述がないが→今後検討します。
- ・屋根の上の太陽光発電パネルの設置は→今後の検討課題です。

市としてはこの日出された意見は重く受け止め対応したい、と総括としての回答がありました。

なお、この説明会は有松で2回、東丘で1回開かれ、参加者総数は51名でした。



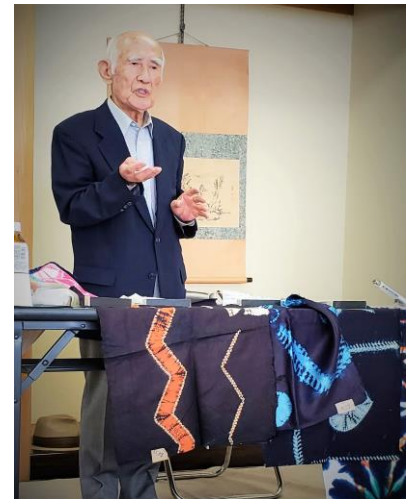
説明会風景

○山田 峯夫さんから「昔の有松」を聞く

有松で絞りを生業としてやってこられた山田峯夫さん（絞りのやませい前社長）のお話を聞く会が開かれました。有松で90年近く見聞きしたこと、体験したことを、地図や写真や実物をもとに語って下さいました。

話は、東海道にあった店のこと、絞りまつりのこと、小中学校のことなど多岐にわたり、昭和から平成へ有松のまちの変貌が大変よく分かりました。特に興味をひかれたのは、昭和9年と60年の絞りまつりの写真です。どちらも大イベントを有松で開催するというパワーが感じられました。また、町屋がずいぶん減っていることも見受けられました。

最後に、戦後の有松絞りの復興の過程でアフリカに輸出された布地（写真参照）が示されました。その華やかさと共に山田さんの絞りへの熱い思いが伝わってきたお話でした。



アフリカ輸出の絞りを説明する
山田峯夫さん

○ 晩秋の有松を楽しむ会

開催日時：11月3日・4日 10:00～16:00

事業内容（予定）

- ・有松提灯の取り付けと点灯：有松東海道沿い軒先
- ・いけばな展：竹田邸、有松東海道一帯、
- ・親子いけばな体験：中町年行司（有料）
- ・着物着付け：山田薬局、棚橋邸（有料）
- ・お茶会：竹田邸茶室「栽松庵」（有料、着物着用者は割引あり）
- ・天満社ブライダルフェア：竹田邸
- ・コンサート：竹田邸三番蔵、久田邸、寿限無茶屋、（有料）
（有松慕情の別府たけし、箏、チェロ、ヴァイオリン、二胡、オカリナ、三味線、ギター）
- ・絵手紙教室：柵屋、（有料）
- ・紙芝居：棚橋邸（無料）
- ・マルシェ（市場）：岡邸
- ・まちなみツアー：棚橋邸（受付）（無料）
- ・モノヅクリ体験：山田薬局、柵屋、（有料）
- ・飲食ブース：服部崇邸駐車場
- ・陶磁器展示：棚橋邸
- ・山車会館無料開放（山車説明有り）
- ・組紐体験：山車会館（有料）

○ 有松ミチアカリ（竹あかり）

○開催案内

開催日時：11月3日 17:00～20:30

開催場所：有松東海道中町～西町一帯、祇園寺

○ボランティア募集

竹あかりの制作からイベントの運営まで、有松ミチアカリと一緒にサポートするスタッフを募集しています。

○制作日時

・10月6、7、8、13、14日

・10:00～15:00

○制作場所

・国道302号高架下鎌研広場（名鉄電車北側）

○問合せ先

・050-7516-6632

・ホームページ「有松ミチアカリ」で検索



昨年のミチアカリ



竹ぼんぼり制作風景

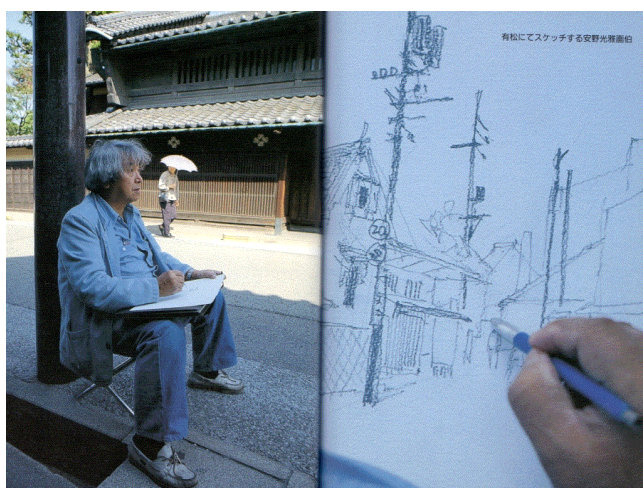
○ 有松点描

○『街道をゆく』（濃尾参州記）に描かれた風景・井桁屋

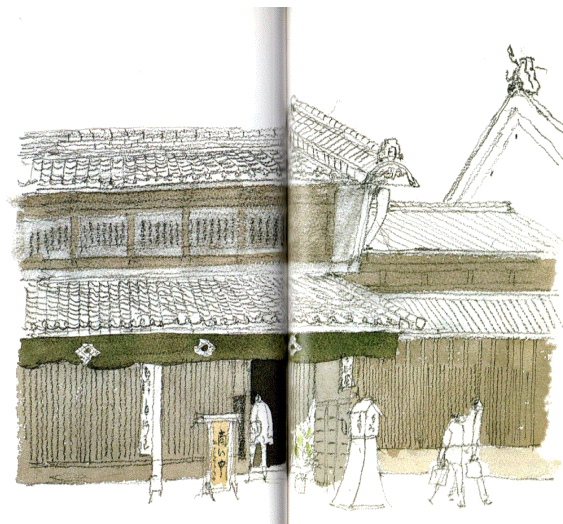
1971年に「週刊朝日」の連載として始まった『街道をゆく』は司馬さんが亡くなる1996年まで、25年にわたり続いた。その最終が『濃尾参州記』（43巻）である。

その旅で『国盗り物語』の舞台にもなった桶狭間へ向かう途中、一行は有松にも立ち寄っている。挿絵のため同行していた画家の安野光雅氏は、棚橋家の軒下を借り下の絵を描いている。その一枚は、当時電柱が立ち並ぶ町並みの景観。もう一枚は卯建の上がる井桁屋の主屋。それには水彩が施され重厚な町屋建築に一層の趣がみられる。

この『濃尾参州記』は未完であり、有松のことには一言も触れていない。しかし司馬さんのことである、珈琲でも飲みながら町並みや絞りについて周りの人たちに蘊蓄（うんちく）を傾けていたにちがいない。



安野光雅氏のスケッチ風景



安野光雅氏が描いた井桁屋

○ 「有松の重伝建」ホームページに掲載される

有松の重伝建で特定された物件を説明した「有松の重伝建」が、有松まちづくりの会のホームページ「有松のまち」に掲載されました。

特定された伝建物件全ての説明と建物の場所を示しております。ご興味のあるかたや調べたいことがある時はご覧ください。

<開き方> (→はクリックを意味します)

「有松のまち」→トップページの「有松の重伝建」→「建築物」または「石積・石造物・灯籠・石碑」または「環境物件」の番号→特定物件の写真と解説および補助情報が表示されます。

○ 信長公・義元公 JR名駅に展示

「JRデスティネーションキャンペーン」の一環として、名古屋市が進める観光ルート＝信長攻路（清州城から桶狭間への進撃路）＝の関連で、信長公と義元公銅像の原型がJR名古屋駅の銀の時計横に展示されています。

展示期間は、9月30日～12月15日です。



桶狭間古戦場公園の銅像

○ 催事・行事の予定

- ・09月30日（日） 10:00 信長公・義元公銅像展示 名駅銀の時計横 名古屋市 12月15日まで
- ・10月06日～7日 12:00 第4回コスモス絵画展 棚橋家住宅 出品者9名 7日は10:00～
- ・10月07日（日） 09:30 有松山車まつり 天満社・有松東海道 文嶺講
- 〃 10:00 さよなら東湯絞りワークショップ 旧東湯 スズサン
- 〃 13:30 16:30 第2回有松寄席 竹田邸三番蔵ホール 上方落語の会
- ・10月18日（木） 14:00 第1回 日本遺産推進協議会 絞会館
- ・10月21日（日） 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 青空市運営委員会
- ・10月22日（月） 18:00 有松まちづくりの会 役員会 コミセン
- ・10月27日（土） 10:00 緑区民まつり 大高緑地 緑区役所
- ・10月28日（日） 07:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- ・10月30日（火） 18:30 山田真吾in棚橋邸座布団コンサート（詳細はHP「有松のまち」参照）
- ・11月03日・04日 10:00 晩秋の有松を楽しむ会 有松町並み保存地区一帯 実行委員会
- ・11月03日（土） 17:00 有松ミチアカリ（竹あかり） 有松東海道中町～西町一帯・祇園寺

発行者：竹田嘉兵衛（有松まちづくりの会 会長）

編集者：加藤 一成（有松まちづくりの会 広報部員）

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索